

1. 写真の部



写真提供：茨城県

1 写真の部

写真提供：東海村 建設水道部 下水道課 坪 正樹



地滑りにより、波打ってしまった路面の間から、マンホールが浮上＝小松原笠内線



地滑りによる道路の陥没や亀裂＝小松原笠内線



ボックスカルバートがずれ、採石が流れ落ち道路が破断陥没＝五反田線



道路下でボックスカルバートがずれてしまったことによりできた歩道の段差＝五反田線



地震直後に庁舎外へ避難したところ＝役場



更衣室のロッカーは扉が開き、中身が放り出された＝役場



久慈川から取水する施設が被災し全村が断水しているため、懸命の復旧工事を実施＝那珂市（外宿取水口）



地滑りによる道路の破断陥没：それに伴うライフラインが被災＝村松／平原工業団地・動燃通り



天井落下物の撤去＝東海駅



津波により火災を起こした車などを撤去して道路の確保を図る＝常陸那珂港区



液状化による下水道管渠が被災し、道路が陥没＝常陸那珂港



液状化によるマンホールの浮上＝船場



発電機を回し、裸電球で効率良く明りをとる＝舟石川コミセン



余震に怯えながら、まんじりともせず overnight を明かす



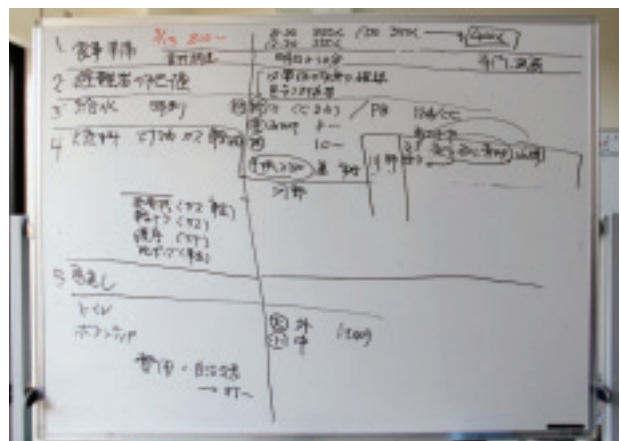
図書スペースも人でいっぱい



玄関の方まで避難してきた人たちでごった返す



避難所に向かう車、水をもらいに行く車、ガソリンを求める車で、舟石川コミセン周辺道路が混雑



ホワイトボードに書いて現況を確認しながら、ボランティア活動



給水車に長蛇の列



給水車だけでは間に合わず、田んぼ脇の井戸から、ポンプで水を汲み上げる



薪を割り、かまどにくべて、お湯を沸かす



アルファ米に湯を注ぐ



調理室を使い、みんなで協力し合って炊き出し



緊迫した状況の中でも、温かい食事をすれば、心も落ち着く

写真提供：(株)岩谷 空圧 岩谷 豊



給水車だけでは、間に合わず…＝動燃通り



ポンプで脇の井戸から水を汲み上げる



この水の勢い！



ポリタンク持参の人には、大きな容器から給水



皆で協力して給水



ペットボトルには、ひしゃくを使って

写真提供：東海村 福祉部長 菅野 博



落ちたガードレール：崩落は住宅に迫り，ガードレールや側溝も崩れ落ちました＝南台住宅南側崩落斜面



農地を覆った大量の土砂：崩落した土砂が，隣接の水田の半分まで埋め尽くしました＝南台住宅南側崩落斜面



落ちた屋根：人がいなくて幸いでした＝役場庁舎正面

写真提供：東海村 経済環境部 環境政策課
白石 幸洋



カウンターが倒れた!! これで骨折した人がいたそうです

写真提供：吉村 三郎



住宅の中央部を地割れが走り，床と壁が分断，更に地割れ線を境に片側が地盤沈下し，住宅が傾いた＝自宅 平成23年 3月11日

写真提供：東海村自然調査団員 菊池 芳文



液状化で大破した遊歩道と津波の跡(植物片は津波漂着物)＝竹瓦芝野



津波で運ばれた小舟と破壊された護岸＝竹瓦前川



地震で大破した墓石＝石神内宿



津波が運んだ様々な漂流物＝石神内宿河川敷運動公園



液状化で水田に噴出した地下の砂(白色部)＝石神内宿沖田



津波で大破したフェンスと様々な漂着物＝照沼渚(新川河口右岸)



津波が運んだ様々な漂着物＝照沼渚（新川河口右岸）



新川に到達した津波の高さを示す水管の漂着物＝新川と村松川の合流域



津波で水路の土手に打ち上げられた大鯉＝村松海岸の南東



液状化で大破し阿漕ヶ浦に滑り込んだ建物＝村松砂山



液状化で地盤の変形した駐車場＝村松砂山



津波が運んだ土砂で埋められた水田＝豊岡外手



地震直後、児童センター利用者が多目的グラウンドへ避難：非常に寒く、急遽準備した毛布で暖をとった



寒さ対策のテントも準備し始めたものの風が強く、最終的には、バスで対応



正面入り口付近のFIXガラスが破損



2 m× 5 m採光ガラスが破損



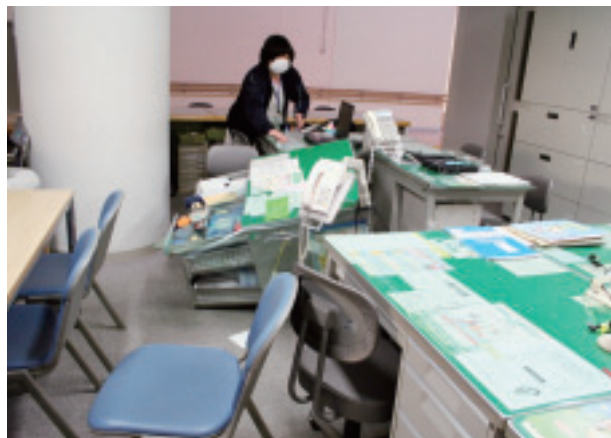
破損した採光ガラスの一部は、地面に落下し、一部はボランティア室の窓を突き破った



破損した採光ガラスがボランティア室の窓を突き抜けた：直前まで打合せが行われており、九死に一生を得た



事務所の中。机や棚の上の物はなぎ倒されたり、床の上に放り出されてしまった



揺れで開いてしまった引き出しの重みに耐えかねて、机の脚が折れてしまった



天井パネルの一部が落下



レストランの天井の一角がはがれ落ちる



高齢者センター露天風呂の木製ひさしが落下



村道五反田線の「絆」入り口付近で路面が陥没した：液状化現象の跡も見られた

写真提供：村松地区 宿自治会長 田所 洋一



新川を遡上する津波＝動燃通り新川根橋上流



護岸を超える津波＝動燃通り新川根橋



新川を遡上する津波＝動燃通り新川根橋下流



津波により床下浸水＝動燃通り新川根橋付近の民家



津波が逆流＝真崎浦土地改良組合第一揚排水機場



護岸が崩落した村松川河口＝新川合流付近



校庭に避難した照沼小学校の児童



棟が崩れ落ちた民家＝村松宿地区



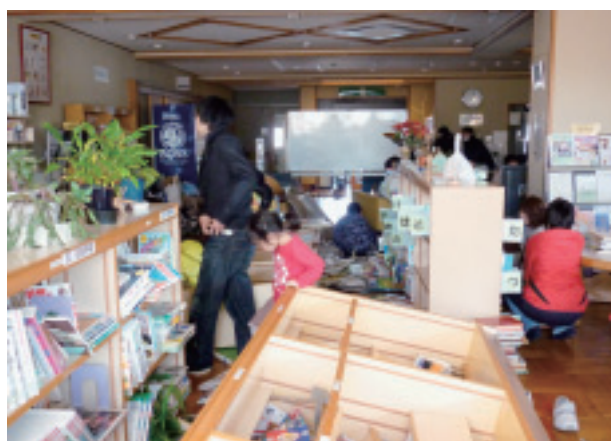
プールの水が溢水＝箕の輪団地



焚火で乳児向けお湯をつくる＝一夜明けた翌朝の村松コミセン



焚火で暖をとる＝一夜明けた翌朝の村松コミセン



図書コーナーの本棚も倒れ、本が床に散乱した：子どもたちも片付けに参加



トマトの雨除用パイプでつくった仮設トイレ



停電、断水のため避難者同士で、手分けし、水の確保や燃料集めに努める



飲食物を持ち寄り、炊き出しを始める



キャンプ道具を持ち寄って、利用する



ブロックでかまどをつくり、大鍋で食事をつくる



温かい食事で、子どもたちの表情も少し和む



3月12日の朝の状況



車の中やテントで一夜を明かす



その数20数世帯：停電と断水のため3月14日頃まで続いた



3月15日以降は、朝方集まって対策を協議

駅東のこの地区は、アパートと民家が混在している。
 避難者の多くは、アパート在住の方々で見知らぬ同士であつたが、お互いに協力し、震災の不安解消に努めた。
 なお、空地を無断借用したことについて、お許しいただきたい。



炊き出しのおにぎり作り



談笑しながら、リハビリ体操



ハイ、次は立って腕を前へ出して



避難者は絆へ移動のため、片付け開始



またいつでもすぐ使えるように、きちんとたたみましょう



プライバシーを少しでも守るためのダンボール製のパーティションもたたんで片付けます